

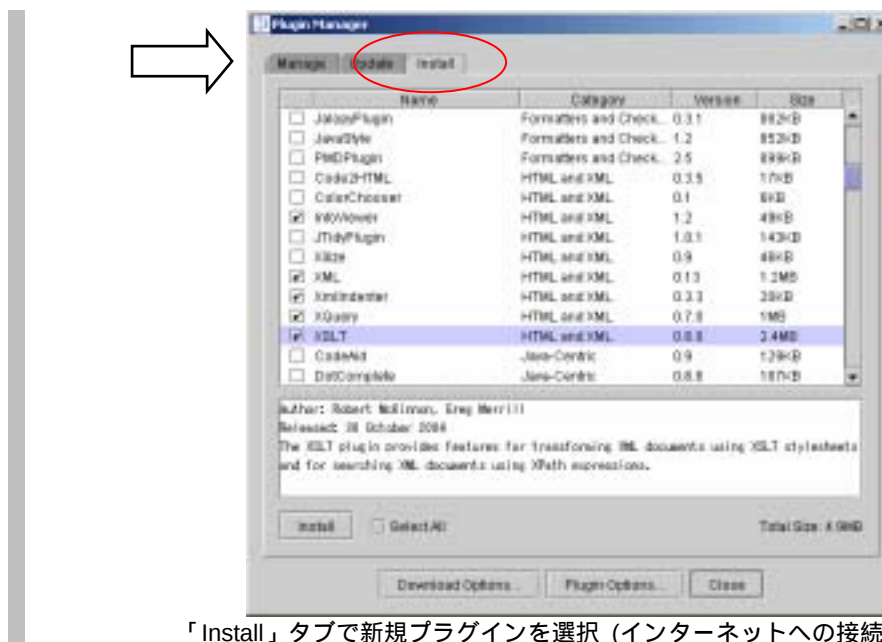
配布資料の訂正・補足一覧 (2004-12-29 現在)

以下に、研究会当日に判明したものを含む配布資料の修正箇所および補足情報を整理しました。他にお気づきの点やご意見、ご感想などありましたら、千葉までぜひお寄せ下さい。

第2章 ソフトウェアのインストール

補足 5. jEdit のプラグイン管理ツール

- 2 番目の図.(p.7 上) の丸の位置を修正



「Install」タブで新規プラグインを選択 (インターネットへの接続が必要)

2.5. 本研究会で利用するその他のツールのインストール

- 第1段落 (p.11)

誤：本研究会で利用するツールはワークショップ CD-ROM の win フォルダの中に tools.exe (自己解凍式 ZIP ファイル) というファイル名でまとめてアーカイブしてあります。tools.exe を実行し、ツール群を適当な場所に解凍してください。...

正：本研究会で利用するツールはワークショップ CD-ROM の win フォルダの中に XML2004.exe (自己解凍式 ZIP ファイル) というファイル名でまとめてアーカイブしてあります。XML2004.exe を実行し、ツール群を適当な場所に解凍してください。...

- 第2段落 (p.11)：段落全体を削除し、代わりに以下の段落を挿入してください。

削除：フォルダ「XML2004」の中に、各ツールへのショートカットがありますので、必要でしたらデスクトップ上などにコピーしてお使いください。

挿入：CD-ROM の samples フォルダに実習で利用するファイルが保存されています。ファイルの修正や新規保存をおこないますので、samples フォルダをハードディスクの適当な場

所にコピーしてください。特にコピー場所についてのご希望がなければ、ハードディスク (C ドライブ) 直下にフォルダをコピーしてください。

第3章 エディタを使った XML のマークアップ

3.2. シンプルなマークアップ

- 手順 5. (p.2) 2 行目

誤：ここで、コンテンツとなるテキストを開きます。「Open Document」アイコンをクリックし、「XML2004」フォルダからテキスト文書 koogohoo.txt を開いてください...

正：ここで、コンテンツとなるテキストを開きます。「Open Document」アイコンをクリックし、「samples」フォルダからテキスト文書 koogohoo.txt を開いてください...

- 手順 8. (p.2) :

誤：koogohoo.txt にバッファを切り替え、<corpus>と</corpus>の間にカーソルを置き、先ほどコピーしたコンテンツを挿入します ([Edit] → [Paste])。

正：koogohoo.txt にバッファを切り替え、<koogohoo>と</koogohoo>の間にカーソルを置き、先ほどコピーしたコンテンツを挿入します ([Edit] → [Paste])。

- 手順 11. (p.2) 図に示したエディタの編集画面の 2 行目にある<corpus>というタグを<koogohoo>に訂正：



3.3. DTD を用いた XML 文書のマークアップ

- 手順 6. (p.4) の最後の段落に以下の文章を追加：

なお、Value 欄にテキストを入力するには該当する Value 欄をダブルクリックします。

3.4. 自動マークアップの例

- 注 1 (p.6) に下線部を追加：

誤：青空文庫が公開するものから抜粋した。元のテキストは kokoro_org.txt として収録している。

正：青空文庫が公開するものから抜粋した。元のテキストは samples フォルダの中に kokoro_org.txt として収録している。

第 4 章 XML の検索と加工の実践

4.2. XPath を使った用例検索

CD-ROM に収録した検索ツール searchXML.exe にはバグがあり、検索結果を正しく表示できません。研究会ホームページ上に少し古いバージョンを置いておきましたので、置き換えてご利用ください。(最新バージョンに含まれている機能の一部が使えませんがご了承ください。)

4.3.1. jEdit による XSLT スタイルシートの作成

- 手順 2. (p.2)

誤：新しいバッファを開き、「samples」フォルダの中の「dtd」フォルダの中に koogohoo.xml という名前をつけて保存します。XSLT スタイルシートの拡張子は xml (最後は L の小文字) です。

正：新しいバッファを開き、「samples」フォルダの中の「styles」フォルダの中に koogohoo.xml という名前をつけて保存します。XSLT スタイルシートの拡張子は xml (最後は L の小文字) です。

- 手順 3. (p.3) の末尾に以下の文章を追加：

(図中の矢印は改行をせずに続けて入力することを表します。)

- 手順 5. (p.3) および 手順 6. (p.4) のスタイルシートの記述を以下のように訂正：

6 行目：

誤：<xsl:apply-templates select="div2">

正：<xsl:apply-templates select="//para">

補足：

実習では、<xsl:apply-templates select="//div2"> と書くよう臨時的訂正を行いましたが、この方法で select をおこなってしまうと、出力に予想外のテキストが含まれてしまいます。これは、xsl:apply が、select 属性の値としてとる XPath ノード (//div2) 内のテキストを全て出力してしまうためです。実習の例の場合、para 要素の中のテキストだけを HTML の p 要素として変換し出力するはずが、以下のように、変換結果の冒頭に div2 要素の中にある head 要素の内容 (「言語の本質」) も出力されてしまいます (XSLTConverter の変換結果で示します)。

言語の本質<html><head><title>変換テスト</title></head><body><p>
文法学に於て言語と称するのは、名詞動詞その他何々詞と称する様な類をも助辞
と称する様な類をも文章と称する様な類をも含む総称である。
言語は、口に発せられ耳に聴くべき場合が代表的なものである。
之を声言語と名づける。</p><p>しかし...

上記スタイルシート 6 行目の修正では、select 属性に指定する XPath を「//para」とし、para 要素を直接指定することにしました。これで、選択されるノードの集合に head 要素は含まれなくなります。(なお、たとえば div2 要素の中にある para 要素だけを指定したい場合には、6 行目の select 属性の値を//div2/para と記述します。)

このように、XPath での検索はノードを単位として行われます。このことは、ノードがもつ情報、たとえば要素や属性、これらの順番や位置関係などの情報を効率的に利用できる一方、ノ

ードが含むテキストに細かな処理を加えることは苦手であることを意味します (たとえば div2 をノードとして選択した場合は、その中のテキストは原則として全部出力されてしまうので、para 要素の内容以外のテキスト要素を除こうとしてもできないわけです。そのため、para 要素をノードとして選択しなければならないことになります)。

4.3.2. XML 文書への XSLT スタイルシートの適用

- 図中のスタイルシートを記述するタグ (2 ~ 3 行目) :

誤 : `<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="./dtd/koogohoo.xsl"?>`

正 : `<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="./styles/koogohoo.xsl"?>`

4.3.3. XSLT 変換ツール XSLTConverter の利用

- 段落冒頭 :

誤 : 指定した XML 文書を XSLT で変換して出力するシンプルなツールです。

正 : 指定した XML 文書を XSLT で変換し、結果をファイルとして出力するシンプルなツールです。

補足 XML の編集に特化したフリーのエディタ (無償で利用できるもののセクション)

1. iPad (<http://www.infoteria.com/jp/product/ipad/index.jsp>)

インフォテリア社による国産 XML エディタです。データベース形式の XML データの入力編集に特化したシンプルな画面構成が特徴です。研究会にて申し上げましたとおり、iPad の販売は終了しており、サポートなしの無償利用のみ可能です。また、製品のダウンロードは 2004 年 12 月末日で終了となる予定だそうです。

2. Morphon (<http://www.morphon.com/>)

XMLspy と同様、ビューの切り替えが可能です。製品としてのサポートは終了しているようです。

3. XML NotePad (<http://www.webattack.com/get/xmlnotepad.shtml>)

Microsoft Windows に付属する簡易エディタ「メモ帳」の XML バージョンです (現時点で Microsoft のサポートは終了していますが、上記アドレスからダウンロードができます)。簡単な XML 文書の編集が可能です。

4. XMLspy Home Edition (http://www.altova.com/products_ide.html, <http://www.xmlspy.jp/>)

Altova 社の XML 関連製品のうちの 1 つで、Windows 上で動作する XML エディタの草分け的なものです。最新バージョン (2005) から、個人利用に限り Home Edition を無償で利用できるようになりました！ (研究会では Home Edition を含め有償とお伝えしておりましたが、間違いでした。) 使用の際は Altova 社にユーザ登録を行い、ライセンスコードをもらう必要があります。

カーソル位置で XPath 表現を計算してくれたり、テキスト表示とグリッド表示、ブラウザ表示を切り替えられたりと、XML 専用エディタならではの表示機能が充実しています。また、XSLT を適用して変換結果を表示させることもできます (XSLTConverter が組み込まれているわけです)。ただし、jEdit にある XPath によるデータ抽出は有償の上位バージョンの機能であり、Home Edition ではできません (バージョン間の機能比較は http://link.altova.com/matrix_x.html を参照)。